

## 超高速セキュリティ・プロセッサ

## MB86C61

## 特長

特許出願済※

- 最大 双方1GbpsフルワイヤスピードのIPsec通信が可能
- IPsec通信時のCPUパフォーマンスを大幅に軽減
- 実動作時の消費電力は600mW (条件: 双方向1Gbpsフルワイヤ IPsec通信時)

## ■ 概要

MB86C61はパケット長に関係なく、最大 双方向1Gbpsフルワイヤスピードを実現できる超高速セキュリティ・プロセッサです。

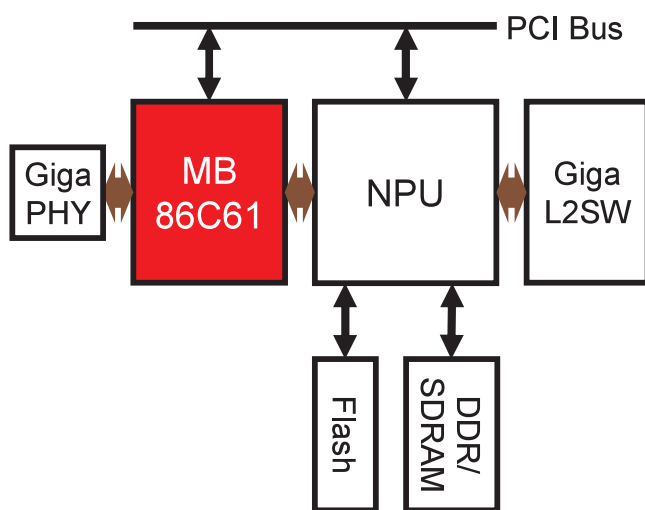
現行システムのスループットを落とすことなく、IPsec通信に対応できます。

また、複数個搭載しているネットワーク処理に特化した小型プロセッサ(マイクロエンジン)のファームウェアを書き換えることにより、従来のプロトコルだけでなく、新規作成中、またはユーザオリジナルのレイヤ2/レイヤ3レベルでのパケット処理(暗号化含む)を実行できます。

加えて、この帯域ではトップクラスの実動作時 600mWという低消費電力を実現しています。

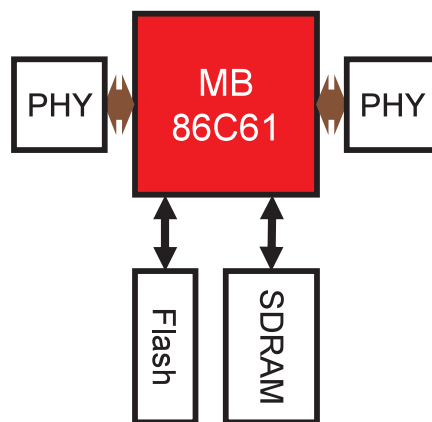
特許出願済

## IPsecアクセラレータとして使用



対象製品：VPNルータ、OA機器、携帯基地局など

## セキュリティプロセッサとして使用



対象製品：IPsecアダプタなど

## ■ 技術のアピールポイント

### ネットワーク性能を維持したまま、IPsec対応が可能

最大 双方向1GbpsフルワイヤスピードのIPsec通信が実現できるLSIですので、現状のネットワーク性能を維持したまま、IPsec対応が可能です。  
これまでの暗号LSIでは実現が難しかった、IPsec対応によるネットワーク性能低下といったデメリットなしに、製品の競争力を向上できます。



### 現行CPUの変更することなく、IPsec対応が可能

CPUはIPsec通信に先立って行われるIKE(鍵交換プロトコル)を実行した後は、IPsec通信にパフォーマンスを割かれることはありません。  
→ IPsec通信は全てMB86C61が実行します。  
従いまして、IPsec対応に伴うCPUの変更が不要であり、実績あるシステム、およびソフト資産を活用できるため、新製品の早期市場投入が可能です。



## ■ 想定される利用シーン

### MB86C61採用例：エルミック・ウェスコム社製IPsecアダプタ「IP-Cipher」

今後のデータの機密性向上によりネットワークにはセキュア通信が求められますが、対応できない既存製品はたくさんあります。エルミック・ウェスコム社製IPsecアダプタ「IP-Cipher」は、MB86C61を採用していますので、ワイヤスピードのセキュア通信を実現できますので、既存製品のネットワーク性能を損なうことなくセキュア通信に対応させることができます。

